

「ヨイ／ワルイ」の類義と対義

田中章夫

1) 古語 (F1)

古語では、「ヨシ／アシ」は客観的ないしは恒常的な基準に照らした評価を表し、「ヨロシ／ワロシ」は主情的ないしは相対的な評価を表すとされる。

鴨長明の「無名抄」の静縁法師の和歌論議に出てくる「ヨシ／アシ・ヨロシ／ワロシ」の使い分けは有名(82ページ)。

2) 現代語(標準日本語) (F2)

現代の標準日本語においても、「ヨイ」は客観的、「ヨロシイ」は主情的といった違いは、ある程度認められる。しかし、評価の場合は「ヨイ」を用いる傾向が強い。

「ヨロシイ」は、「ヨロシク頼む」のような慣用的な用法や、「帰ってヨロシイ」といった「許可・許容」あるいは「皆さまにヨロシク」など「挨拶」に用いられることが多い。「ヨイ」に比べると、用法が限られているうえ、語感の面でも、文章語的な、やや古めかしいニュアンスがある。その意味で、「ヨロシイ」は評価形容詞としては衰退にむかっているとみえる。

いうまでもなく、「ヨイ」には「イイ」の形があり、前者はやや固い書きことば的なニュアンスを持ち、後者はくだけた話しことば的な語感を持つが、「イイ」には、また「イイ加減」「イイ塩梅」「イイ歳をして～」「イイぞまだ」などの慣用的な用法がみられる。

一方、マイナス評価では、「アシ」は、すでに衰退し、「事のヨシアシをわきまえろ」「おりアシク不在だった」「アシざまに言う」といった慣用的用法を除き、ほとんどすべてを「ワルイ」がカバーしている。

3) 方言 (F3・F4・F5)

3-1) 関西ことばでは、「エエ」と「ヨロシ」の間には、やはり、「エエ」は客観的「ヨロシ」は主情的といった違いが認められ、ともに日常普通に用いられる語である。「エエ／ヨロシ」には、マイナス評価として「ワルイ」はもちろん

〔四七〕静縁こけ歌よむ事

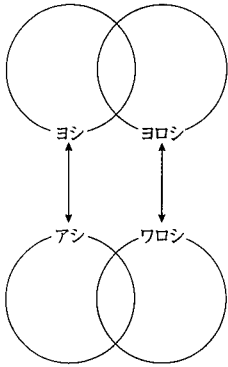
静縁法師、自らが歌を語りて云はく、

「鹿の音を聞くにわれさへ泣かれぬる谷の庵は住み愛かりけり
 とこそ、つかうまつりて侍れ。これいか侍る」といふ。予云、「よろしく侍り。ただし、『泣かれぬる』といふ詞こそ、あまりこけ過ぎて、いかにぞや覺え侍れ」といふを、静縁いはく、「その詞をこそ、此の歌の詮とは思ふ給へるに、この難はことの外に覺え侍り」とて、いみじくわろく難ずると思ひげにて去りぬ。よしなく覺ゆるままに物をいひて、心すべかりける事と悔しく思ふほどに、十日ばかりありて、又來りていふやう、「一日の歌難じ給ひしを、かくれごとなし、心得ず思う給へて、いぶかしく覺え侍りしままに、さはいふとも、大夫公の許に行きてこそ、わが僻事を思ふか、人のあしく難じ給ふか、事はきらめと思ひて、行きて語り侍りしかば、やがて、『おみつらのかかるこけ歌よまるるぞとよ。泣かれぬるとは、何事をさまで泣く心ねや』と難はしたなめられて侍りし。されば、よく難じ給ひけり。我があしく心得たりけるを、おこたり申しにまうでたるなり」といひて歸り侍りにき。心の清さこそ有難く侍れ。

対立するが、「エエ」に対しては、むしろ「アカン」の方が対応している。

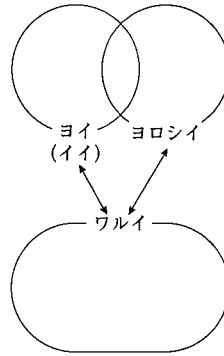
- 3-2) 関東のことばには、「イイ」と「ワルイ」の対立はあるが、「よろしい」は挨拶の「ヨロシク」以外は、ほとんど用いられない。
- 3-3) 九州のことばでも、関東・東日本と同様に「ヨロシ系」は衰退してしまっている。「ヨカ」に対応するマイナス評価は、一般には「イカン（イケン）」であって「ワルカ」は情緒的ないしは道徳的な場合など、用法が限られているようである。

1) 古語



F1

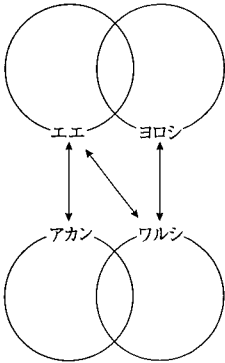
2) 現代語 (標準日本語)



F2

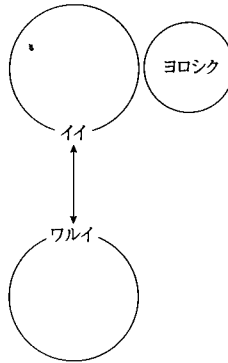
3) 方言

(3-1) 関西



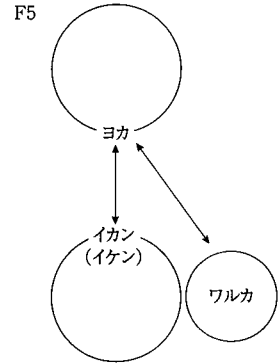
F3

(3-2) 関東



F4

(3-3) 九州



F5

4) 語形別の用法

	イ	イ・ヨ	イ・ヨ	シ・ヨロシイ	ワルイ・ア	シ
A) 原形	○	○	○	×	/	○
B) 終止法 (～。)	○	○	△	○	/	○
C) ～デス	○	△	×	○	/	○
D) ～ゴザイマス	×	○	—	○	/	○
E) ～タ・～タラ	×	○	—	△	/	○
F) 否定形 (～ナイ)	×	○	—	○	/	○
(～ズ)	×	○	—	○	/	○
G) 推量形 (～ウ)	×	○	×	○	/	○
H) 中止法 (～ク)	×	○	—	○	/	○
I) 連用法	×	○	—	△	/	○
J) 連体法	○	○	○	△	/	○
K) ～形式名詞	○	○	×	○	/	○
L) 準体法	×	×	○	○	/	×
M) 条件法 (～ケレバ)	×	○	—	○	/	○
(～クバ)	×	×	△	×	/	×
N) 接続法 (～テ)	×	○	—	△	/	○
O) 希求法 (～カレ)	×	○	—	×	/	×
P) 派生形 (オ～)	×	×	—	○	/	○
(～サ)	×	○	—	×	/	○
(～ゲ)	×	△	—	×	/	△
(～ナ)	×	×	△	×	/	×
(～ガル)	×	△	—	×	/	△
(～ブル)	×	×	—	×	/	○

(注:「ヨシ」の欄の一印は口語形「ヨイ」と同じ)

5) 用例

- A) イイにつけ、ワルイにつけ、叱言がひと言多い。
 イイもワルイも実物を見なくてはきめられない。
 ヨイ・ワルイは、そう簡単には決められない。
 ヨシ、すぐに行ってみよう。
 ことのヨシアシを判断しろ。

- なまじっか金のあるのもヨシアシだ
- B) 天気がイイ。(～ヨイ。／～ワルイ。)
就職するもヨシ、進学するもヨシ。自分できめろ。
帰宅してヨロシイ。
「発進用意」「発進用意ヨロシ」
- C) 明日は、お天気がイイ(～ヨイ／～ヨロシイ／～ワルイ)でしょう。
このお話、私がお断りしておきますよ。イイ(～ヨロシイ)ですね。
お食事、おさげしてもイイ(～ヨロシイ)ですか。
- D) (ヨイ・ヨシのウ音便形)
お天気がヨウ(～ヨロシュウ／～ワルウ) ございます。
「ヨウこそ、おこしくございました。」
「面舵、いっぱい」「ヨーそろー」
- E) ご機嫌が、ヨカッ(～ヨロシカッ／～ワルカッ) た。
ヨカッ(～ヨロシカッ) たら、召しあがってください。
- F) 品質はヨク(～ワルク) ない。
「決定してよろしいでしょうか」「いや、ヨロシくない」
ヨカラずワルカラず、一進一退の病状だ。
指揮者の判断ヨロシカラず、破局にいたった。
アシカラずご了承くださいませ。
- H) 天気がヨク(～ワルク)、風が強い日だった。
今朝ほどは、おりアシク、散歩に出ている失礼いたしました。
- I) 景気がヨク(～ワルク) なる。
料理の方は、ヨロシク見繕ってくれ。
留守にしても兄弟でヨロシクやってるから、心配ない。
くれぐもヨロシクお伝えください。
- J) 天気のイイ(～ヨイ／～ワルイ) 日だった。
新車を買ってイイ気になってスピードを出し過ぎた。
ご都合のヨロシイ日をお知らせください。
今日のヨキ日にあたり、一言祝辞を述べさせていただきます。
ヨキ伝統は伝えていかななくてはならない。
アシキ風習をあらためる。
嫁の実家をアシざまにいう。
- K) エンジンの調子のイイ(～ヨイ／～ワルイ) のを選んでおく。
ご機嫌がヨロシイのは、お嬢様がお見舞いにみえたからでしょう。

- L) あとのことはヨキにはからっておいてくれ。
ご指導のヨロシキをえて優勝の栄に浴した。
アシキを払って神域をきよめる。
- M) 天気がヨケレ（～ワルケレ）ば、近くの店に行く。
ヨロシケレば、この辺で閉会にいたします。
あわヨクば、会社を乗っ取ろうとしている。
- N) 天気がヨクても、ワルクても開催する。
電話でキャンセルしておきますよ。ヨロシクて？
- O) 会社の将来にヨカレと思ってしたことだった。
ヨカレアシカレどれも値段相応の品だ。
- P) 今朝は、ご気分がおヨロシイ（おワルイ）ようですね。
性能のヨさをPRする。
若いころはワルさばかりしていた。
気持ちヨげに眠っている。
居心地ワルげに座っていた。
ヨシなお取りはからいください。
産湯に入れたら、気持ちヨがって目をとろんとしていた。
遊び仲間を相手に、しきりにワルがっていた。
いっばしのワルぶって、町をのし歩いている。

以上、語形別の用法を検討してみた結果、もっとも注目されるのは、現代の口語語形として頻用される「イイ」が、語形別用法では、きわめて限られている点である。これは、やはり、伝統的ないしは文章語的な「ヨイ」との競合の結果であろう。

語形別の用法が、もっとも広いのは「ワルイ」であり、ついで「ヨイ」、「ヨロシイ」の順になるが、古典的な「アシ」の語形別用法が、かなり見られる点も注目される点である。

なお、東呉大学の王世和氏に、日本語の「ヨイ／ワルイ」に当たる、中国語の語彙とその用法を、表1のように書き出してもらった。これによると、現代中国語では、「好／不好・壞」が中心で、用法の限られるものに「大／小」「快／慢」「高／低」「善／悪」などがあるという。日本語の用字法に見られる「良・好・善・佳」対「悪」とは、その様相が、たいへん異なっている。マイナス評価が「悪」ではなく、「不好」を中心に展開される点が興味深い。

表1 「ヨイ／ワルイ」に当る中国語の語彙

身體好	身體不好		
頭腦好	頭腦不好		
眼睛好	眼睛不好		
體力好	體力不好		
精神好	精神不好	格局大 (スケール)	格局小
心情好	心情不好	度量大	度量小
脾氣好	脾氣不好	脾氣大 (氣性が悪い)	???
個性好	個性不好	火氣大 (怒りっぽい)	???
反應好	反應不好	反應快	反應慢
出身好	出身不好	速度快	速度慢
天氣好	天氣不好		
氣候好	氣候不好		
記性好	記性不好		
記憶力好	記憶力不好		
人緣好 (人気)	人緣不好		
性能好	性能不好		
心腸好	心腸不好		
心地好	心地不好		
心情好 (機嫌)	心情不好		
彈性好 (ジャンプ力)	彈性不好		
家境好 (経済力)	家境不好		
家世好 (家柄)	家世不好		
眼光好 (見る目がある)	眼光不好	眼光高 (目が高い)	眼光低
		志向高 (目指すところ)	???
好人	壞人		
好事	壞事		
好書	壞書		
???	壞心眼 (邪推)		
???	壞蛋 (悪いやつ)		
???	壞毛病 (悪いくせ)		
好習慣	壞習慣	惡有惡報，善有善報	
好榜樣	壞榜樣 (悪い手本)	面惡心善	